



## P2

- 熊本県は、生活用水になるまでの水の流れが、一般的な水の流れと違い、多くの人が地下水をくみあげて生活用水に使っています。
- 熊本県は生活用水の約8割を地下水でまかなっていて、わたしたちの暮らしをささえています。

## P3-4

- 熊本県の一部の地域は、水がしみこみやすい地層で、しみこんだ水はろ過されてきれいな地下水になります。このため消毒が少なく済みます。
- 地下を流れるなかでミネラルがバランスよくとけこみ、おいしい地下水になります。
- これからもおいしい地下水を飲んでいくためには、地下水の「量」を増やして、「質」を守っていくことが大切です。

## P5

- 熊本県の地下水かん養に、水田は必要です。
- お米をつくる農家は、私たちが食べるお米をつくる以外に、ブタやニワトリなどのエサになる飼料用米をつくったり、お米をつくらない時期に水田に水をはったりと、地下水の「量」を増やす工夫をしています。

## P6

- 地下水の「質」を守る土のために、野菜を育てる肥料と農薬は、ちょうど良い量の使用が大切です。
- 農家は、肥料や農薬をへらす工夫をして、地下水の「質」を守る努力をしています。

## P7-8

- 農家が地下水の「量」を増やし、「質」を守っています。
- わたしたち県民、県や大学が農家を支えることで、地下水を守っていくことになります。

## P9-10

- わたしたち県民が、熊本県産のお米や野菜、お肉を買って、食べることで、熊本の地下水と土を守っていくことになります。
- 熊本県産のお米や野菜、お肉を買って、食べることは、「地産地消」にもなります。

## P11-12

- 熊本県には、たくさんの農畜産物があります。熊本県産の農畜産物を買って、食べることで熊本の農業を支えましょう。

## P13

- 熊本県のゆたかな地下水は、土を育む農業によって守られています。農家は、地下水の「量」を増やし、「質」を守るために、日々努力をしながら、おいしいたくさんの農畜産物をつくっています。
- わたしたち県民が、つくられた農畜産物を買って食べることで、農業をささえ、地下水と土が守られています。